

# 東京湾再生官民連携フォーラム

## ② 東京湾大感謝祭

東京湾大感謝祭PT長 木村 尚

(NPO法人海辺つくり研究会 理事・事務局長)

東京湾大感謝祭のスタート  
「東京湾の恵みを再生するのであれば、まずはその恵みに感謝することから始めたらどうか」という素朴な思いからスタートした。とっつき易さにより多くの賛同者を得て、第1回東京湾大感謝祭を平成25年11月に東京にて開催した。東京湾の魅力や課題などを伝えることに主眼をおいた。トークシ

ョーや東京湾を見て味わう出店等が企画され、約1200名の参加があり、東京湾再生に向けた官民連携の記念すべき一歩となった。

### 東京湾大感謝祭 PT

21世紀にふさわしい東京湾を目指して  
東京湾からの恵みに感謝!  
みんなで東京湾を楽しもう  
横浜・赤レンガ倉庫で毎年10月  
東京湾大感謝祭開催!!

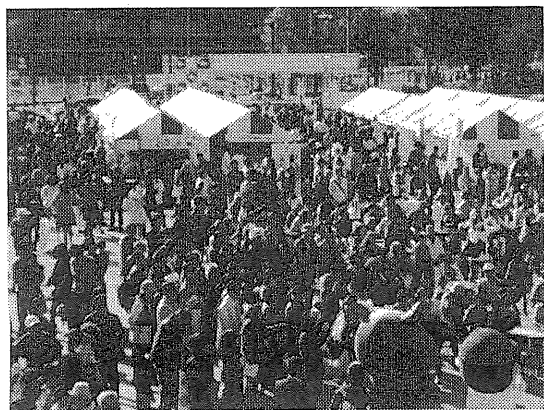
東京湾大感謝祭は、海の再生を考え、行動するきっかけ作りとして、2013年フォーラムと共に秋に東京湾の恵みに感謝する意味を込めてスタートしました。

2015年は、横浜赤レンガ倉庫とその周辺海上で、8万8千名の市民や企業、団体、国、自治体の関係者が集いました。これからも21世紀にふさわしい東京湾を描くため毎年海に親しむことをテーマに、遊び、学ぶ、楽しみながら開催していきます。是非、会場にお越しください。



2015年の大感謝祭  
第2・第3回目の東京湾大感謝祭は、横浜赤レンガパークにて2日間に拡大し開催した。実行委員会の方々が大胆かつ柔軟に、献身的なボランティアとして主体的に動いて、楽しく学べる多様な企画が実施された。2日間の総来場者数は第2回目8万2000人、第3回目が8万8000人に達した。第3回目は管

官房長官等の来場のおかげで各社の報道にも繋がった。  
もちろん、来場者の多くは通りすがりだったが、もしれないが、多くの方々が足を止め、それまで知らなかった東京湾の取り組みについて理解を深めたことは大きな成果であった。  
屋内での各種体験型展示やワークショップ・ミニシアター等とともに、野外ステージでは、バンド演奏・フラダンス等の各種パフォーマンス、ゆるキャラ@クイズ大会、歌と踊りで会場を練り歩く「なんじゃらもんじゃら」の出現等、賑やかさも増えてきた。ステージに面する広場では、企業や自治体を中心に充実した展示の他、東京湾



海の幸の試食販売をするテントが並び、来場者は江戸前を堪能した。湾岸を海から見てもらう東京湾クルーズや、釣りマナー教室も兼ねたハゼ釣り教室も実施され、一斉汽笛も実現した。

これからの東京湾大感謝祭  
私も出演している「THE! 鉄腕! ダッシュ!!」の「DASH海岸」の高視聴率や、今回の来場者数を見ても、海に対する潜在的な関心の高さが伺える。海の魅力、課

題、それに向けた取組み、みんなで行動すべきことを、もっと伝え、共に活動できる機会を増やしていく必要がある。今春には日本テレビの榎アウンサーと赤城乳業のガリガリ君とが東京湾再生アンバサダーに就任した。ISO14001の改定を機に、生物多様性の視点から、経団連も積極的に東京湾の環境再生に参画しつつある。海の日の朝日新聞社説でも大感謝祭が紹介され、湾再生が注目されている。自

ら動く人々たちによる有機的な拡大のきっかけ作りが大感謝祭の今後の使命と考えている。  
東京湾大感謝祭は、本年も10月21日から23日の3日間横浜赤レンガパークで開催する。出展やスポンサーとしての支援も含め、ご協力頂ければありがたい。そうした活動を継続することで「流域人口3000万人総出の東京湾再生」を目指したい。  
東京湾大感謝祭  
<http://tbsaisai.com/>  
fos/